

## 山口県農業試験場跡地

# 未来に向けた夢あふれる跡地活用の議論を！

～大内地域の発展、さらには山口市の発展につなげるために～

令和4年 第5回山口市議会定例会

## 質問と答弁

### 農業試験場跡地の有効活用について

#### ▶質問

山口県農業試験場が令和5年4月に防府市に移転することに伴い、18.7ヘクタールという広大な土地の利用を県と市において検討されている。現在、「跡地利用基本構想」の策定が進められており素案が示された。今回の構想の策定について伺う。

#### ▶答弁

都市核を中心とした都市拠点として、市街地としての整備をしていきたいと考えている。本市としては、特に「若者・子育て世代を惹きつける、山口の未来を牽引するまち」を位置付けることについて協議を行った。また、その実現に向けた具体的な構成要素として、人口の維持、集積を図るため、地域全体の価値を高める公園等を含む安らぎ、憩いの空間、そして市内や近隣からも人を呼び込み、活動してもらえる機能として、誰もが1日中過ごせる場としての学び、遊び、楽しめる空間、個々の能力を発揮する場や働く場を含む、チャレンジ、しごとの空間を位置づけた。

#### ▶質問

基本構想の素案をまとめるにあたり、どのように意見を聞き、情報を得られてきたのか、また、どのような意見やアドバイスが得られたのか伺う。

#### ▶答弁

将来を見据えた具体的なアイデアや提案をいただくための民間事業者との対話、いわゆるサウンディング型市場調査を実施したところ、10社を超える民間事業者から、様々な意見や提案をいただいた。広大な土地であることから、コンセプトを持って一体的に活用していくことで、官民の連携が図れるというものや、広大な土地の造成における行政関与の必要性などの意見があった。また、魅力的な公園を整備することが、周辺地域全体の価値を高めるための有効な手段であるという意見も多数あった。

#### ▶議会での主張

山口県農業試験場跡地エリアは、山口駅を中心とすれば、半径約3km圏内、つまり、湯田温泉街と同等の距離内に位置している。都市拠点として発展の方向性を明確に示すべきである。



山口県農業試験場

### 県道山口防府線の渋滞対策について

#### ▶質問

県道山口防府線の渋滞対策は喫緊の課題であり、渋滞を緩和するには道路整備が必要だと考える。市で整備を進めている、問田川沿いの市道宮島町問田線の整備状況について伺う。



整備が完了した小京都ニュータウン入口付近

#### ▶答弁

永代橋から中村橋の区間について事業を実施しており、現在、小京都ニュータウンの入口付近まで整備が完了している。今後も引き続き整備を進めるが、中村橋付近では家屋移転が必要となる可能性が高く、合意形成を要することから、整備完了までは期間を要するものと考えている。

#### ▶議会での主張

経路の変更等、交通需要マネジメントをしっかりと研究し、渋滞対策に取り組むことを期待する。

### 県と市、民間が一体となって英知の結集を

山口県農業試験場跡地は将来の山口市の発展のために重要な土地であり、是非、人を呼び込むような機能を導入してほしいと考える一方で、県道山口防府線の渋滞も大内地域をはじめ市民にとって深刻な問題です。山口県農業試験場跡地の活用によって人を惹きつけること、渋滞を緩和すること、ともに実現なくして山口市の発展はないと考えています。私もこうした考えのもと、引き続き意見を発信していきます。



## 浸水対策について

### ▶質問

大内問田地区の浸水対策について、今年度はポンプ場整備事業用地の取得と工事の実施に向けた設計業務を行う予定だと認識しているが、進捗についてどのような状況か伺う。



大内問田地区浸水対策事業

### ▶答弁

事業用地については、11月中旬に用地を取得し、来年度からの工事に向けた実施設計業務について設計業者が決定し順調に進捗している。令和5年度、6年度の2か年で工事を実施するが、まずは設計業務をしっかりと進め早期実施を目指す。

### ▶質問

河川の堆積土砂を取り除く浚渫(しゅんせつ)も重要な対策だと認識するが、県管理の二級河川について情報があるか伺う。

### ▶答弁

榎野川、仁保川、問田川をはじめとして、小郡地域の四十八瀬川、徳地地域の島地川などの、計12河川について、昨年度からの予算も含めた総額約3億円で浚渫を実施されるとの情報を県からいただいている。



浚渫工事の様子 [左]榎野川(豊年橋付近) [右]仁保川(氷上橋付近)

### ▶議会での主張

農業試験場跡地の活用により、さらなる浸水対策の必要性が指摘されており、引き続きしっかりと取り組まれることを要望する。

## 交通系ICカード導入の状況について

### ▶質問

来年の春にはJR山口線でもICカードが導入されるが、他の交通事業者も含めて導入状況を伺う。

### ▶答弁

来年度、防長交通がICカード端末を導入されれば、令和2年度の中国ジェイアールバス、令和3年度の宇部市交通局、令和4年度の防長交通(コミュニティバス、堀線)に続き、市内の路線バス全てにICカードが整備される。JRについても来春から山陽本線で新たに新南陽駅から下関駅までと、山口線では湯田温泉駅と山口駅に導入され、ICカード化の流れが加速していくと思う。またタクシー事業者とも継続的に協議の場を持っており、引き続き導入について促進していく。



### ▶議会での主張

JR山口線では一部の駅のみでの導入とのことだが、新山口駅から山口駅までの全駅に導入されるよう要望する。

## 中心市街地活性化について

### ▶質問

「コログルあそびのひゃっかてん」が期間限定で、中心商店街の百貨店内で展示された。今回の取組は、中心市街地活性化基本計画における「アートでつなぐまちの活性化事業」に位置付けられ、実証事業として進められているが、是非、継続的な取組として定着を期待したい。実証事業の目的と、今後どのような展開を考えているのか伺う。

### ▶答弁

オープン当初1カ月間に5千人を超える来場者があり、週末の時間帯によっては入場制限を行う程の盛況振りで、この待ち時間を利用して商店街に買い物に出たり、「コトサイト」で本を読んだり、芝生スペースを駆け回ったりする家族連れの姿が多く見受けられた。対象年齢の引き上げや、年齢による利用時間帯の区分の設定といった運営面での課題を関係者と協議している。



### ▶議会での主張

「子育て世代」と「アート」をつなぐ本事業について課題を検証され、常設を最終目標として進めるよう要望する。

地域政党 やまぐちの風は、市民の皆様の声を大事にすることを第一の信条として活動していることから、市議会での議論について、自身が撮影した画像等と併せて、定例会ごとにわかりやすくお伝えしていくためにつくっているのがこの会報です。是非、ご覧いただき、お気軽にご意見等をお寄せいただければ幸いです。

